

社団法人 日本ボディビル連盟
平成22年度 第2回総会議事録(抜粋)

◇ 日 時 平成23年3月26日(土) 午後3時開会

◇ 場 所 国立スポーツ科学センター 大研修室
東京都北区西が丘3-15-1 03-5963-0200

◇ 東日本大震災について(玉利 齊 会長)

遠方からの御出席ご苦労様です。また今回は東日本大震災の影響で皆様何かと大変なときに連盟の総会にご出席頂きまして心より御礼申し上げます。

この度の大震災の被災でJBBFの東北地方は大変な被害を受けております。後ほど大震災の起きている宮城県からご出席頂いている藤原達也副会長よりご報告して頂きますが、岩手県のジムが津波にのみ込まれて、正会員の古館和男会長も一命を落とされました。そのほかにも、ジムごと流されたり、家屋が損壊したジムが多数あります。

我々としても仲間の救済ということで、日本連盟が窓口となって義援金を募集してますので、皆様方個人、県連盟問わず、是非この際仲間の救済ということでご協力をお願いする次第です。

現状報告(藤原達也 副会長)

皆様この度の東日本大震災につきましては、大変なご心配と暖かいお言葉を頂きまして本当に有難うございました。岩手県のジムは、海に面してしまっていて、古館和男会長は100歳位になるお母さんを助けに戻って行ったまま、家ごと流され行方不明となり、つい先日、本人と奥様が亡くなられたことが災害ホームページで確認致しました。続いて、災害の現状報告(JBBFホームページ掲載)があった。

次に、「我々ボディビル界も大変な被害を被ってますけど、この災害に負けず皆様方と一致協力して日本の復興の底力になっていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

会長挨拶

今回は予算総会です。23年度の事業計画、並びに予算、これを重点的に審議していきたいと思っております。

今まで社団法人日本ボディビル連盟は国内ではボディビルの普及を通して世代や地域・職域を超えたスポーツまたはフィットネスとしての定着をはかり、スポーツ文化の健全な発展を目的に各種事業を展開してまいりました。

23年度においても全国大会の開催、国際大会への参加、公認審査員の育成、指導員制度の充実、公認施設の向上、愛好者層の拡大等と加盟団体を縦軸に協力関係機関を横軸として効率的に事業を運営してゆく所存です。これ等を推進するのに加盟団体と日本連盟の連携を強め地域と中央が一体となって対応してゆくことが望まれます。

日本にボディビルが根を下ろして50数年今日迄日本ボディビル連盟はボディビルを広めることと高めることに意を注いで参りましたが、その様な認識を持った若い力が今後輩出してボディビル普及の推進力になることを期待する次第であります。

◇ 議長選出 定款22条により、議長は玉利齊会長を選出。

◇ 定足数の確認 正会員総数58名。本日出席正会員14名、委任状による出席正会員39名、欠席正会員5名、合計出席正会員53名により、定款第5章第24条に定める2分の1以上の定足数を満たし、有効に成立していることが事務局より報告された。

【報告事項】平成22年度後期事業報告

1. 国内事業

- (1) 2010 年第 56 回男子日本ボディビル選手権大会
2010 年第 28 回女子日本ボディビル選手権大会
開催日：平成 22 年 10 月 3 日（日） 会場：大阪 メルパルク大阪ホール
出場選手数：男子 37 名、女子 25 名
- (2) 2010 年第 5 回全国高等学校ボディビル選手権大会
開催日：平成 22 年 10 月 3 日（日） 会場：大阪 メルパルク大阪ホール
出場選手数：5 名
- (3) JOC ジュニアオリンピックカップ 2010 年第 22 回日本ジュニアボディビル選手権大会
開催日：平成 22 年 10 月 3 日（日） 会場：大阪 メルパルク大阪ホール
出場選手数：12 名
- (4) 2010 年第 22 回日本マスターズボディビル選手権大会
開催日：平成 22 年 9 月 19 日（日）
会場：東京都 江戸川区総合区民ホール（タワーホール船堀）
- (5) 第 32 回ユニセフハンド・イン・ハンド協力
恵比寿ガーデンプレイスにて
ボディビルゲスト出演 鈴木雅選手
連盟関係者のボランティアにて会場警備、並びに募金活動
玉利齊会長、藤岡秀樹理事、鳥谷部篤広報委員長、角田和弘氏、上野俊彦氏、西勝氏、
小西康道事務局長、以上が参加、感謝状が贈呈された。
2010 年 12 月 23 日(水)12:00～16:00
- (6) 平成 22 年度 JBBF 公認指導員認定講習会(予定)
大阪 新大阪センイシティー(未定)
平成 23 年 3 月 19 日～21 日は中止
東日本大震災の影響により、開催を 5 月か 7 月に延期できるか検討中。
講習会開催の場合には、なるべく多くの方の参加をお願い致します。
特に、公認指導員のいない準加盟の公認クラブは指導者を受講させて下さい。
また、5 年以内の更新講習は必ず受講して下さい。

2. 国際事業

- (1) 2010 年女子世界ボディビル、フィットネス、ボディフィットネス選手権大会
開催日：2010 年 9 月 30 日～10 月 5 日 会場：メキシコ メコ州ラネパントラ
参加国数： 35 の国と地域 出場選手数： 130 名
- (2) 2010 年第 44 回アジア男子ボディビル選手権大会
開催日：2010 年 10 月 19 日～21 日 会場：バーレーン マナーマ
参加国数： 22 の国と地域 出場選手数： 90 名
団長 吉田 進 日本ボディビル連盟副会長
監督 朝生 照雄 日本ボディビル連盟選手強化委員長
- (3) 2010 年第 64 回世界男子ボディビル選手権大会
開催日：2010 年 11 月 3 日～8 日 会場：アゼルバイジャン バクー
参加国数： 74 の国と地域 出場選手数： 195 名
団長 玉利 齊 日本ボディビル連盟会長

監督 吉田 進 日本ボディビル連盟副会長
コーチ(通訳) 大瀬 利行 JOCマネジメント強化スタッフ

- (4) 2010年第5回世界男子クラシックボディビル選手権大会
開催日 2010年11月19日～22日 会場：ハンガリー ブダペスト
参加国数： 26の国と地域 出場選手数： 108名
- (5) 2010年第30回世界ジュニア&マスターズボディビル選手権大会
開催日 2010年12月10日～14日 会場：トルコ アンタルヤ・ケメル
参加国数： 40の国と地域 出場選手数： 206名
監督 藤原 達也 日本ボディビル連盟副会長
- (6) 2010年度アーノルドクラシックアマチュアボディビル選手権大会
開催日 2011年3月2日～7日 会場：米国 オハイオ州コロンバス
団長・監督 玉利 齊 日本ボディビル連盟会長
コーチ・通訳 中野 慶 JOCマネジメント強化スタッフ
この大会は、IFBBと連携した大会なので今回初めて派遣出場した。
以上、22年度後期事業が報告された。

【第一号議案】平成23年度事業計画及び収支予算案について

1. 平成23年度 事業方針

今年度の事業方針は以下の4つになり、重要項目に基いて推進する。

- (1) 公益法人制度改革への対応
- (2) 日本体育協会への加盟
- (3) 各種事業の再検討に基いた推進
- (4) 財源の強化

2. 平成23年度 事業計画

平成23年4月1日～平成24年3月31日

- (1) ボディビルの普及及び振興
 - ①公益法人制度改革への対応
 - ②日本体育協会への加盟促進
 - ③日本連盟の各種主催大会実施
 - ④登録会員（選手・指導者・審査員、個人愛好者）の拡大
 - ⑤高齢化社会へ対応策として、生涯スポーツとしてのボディビル普及
 - ⑥地方選手権、ブロック選手権大会に対する競技運営指導
 - ⑦全国高等学校体育連盟への協力要請
 - ⑧健康日本21国民運動（厚生労働省）への参画
 - ⑨地方連盟に対するボディビルクラブの加盟促進指導
- (2) ボディビル指導者の育成、指導並びに指導員資格の認定及び登録
 - ① 公認指導員講習会並びに認定試験の実施及び登録
 - ② ヘルスウエイトトレーナー講習会の検討
- (3) ボディビル競技の選手強化のための方策の検討
 - ① JOCジュニア特別強化選手の選考
 - ② 強化合宿の実施
 - ③ 財団法人日本オリンピック委員会の各委員会への参加
 - ④ ジュニア並びに高校選手権に女子部門の普及

- (4) ボディビル施設の認定及び登録
- ① ボディビル施設の認定、登録の実施
 - ② ボディビル施設の運営向上のための検討並びに協力
- (5) ボディビルのトレーニング用機器、用品、食品等の検討と認定
- ① 公認品、推奨品の認定
JBBF 男子公認トランクス、女子公認ビキニ(ポージングスーツ)の認定
 - ② トレーニング機器の安全性及び効果の研究
 - ③ 栄養補助食品について調査及び研究
- (6) ボディビルに関する刊行物の発行及び監修
- ① 公式ホームページの充実
 - ② ボディビル連盟レポートの発行及び内容の充実
 - ③ 認定ビデオ・DVD・刊行物の作成、監修及び販売
 - ④ ボディビルのトレーニング手引書の検討と作成
- (7) ボディビル競技会の公認審査員養成、資格の認定及び登録
- ① 日本連盟主催大会においてジャッジテスト並びにジャッジトレーニングの実施
 - ② 審査員指名の基礎資料となる個人別審査得点のデータベース作成
 - ③ 公認集計員の養成、認定と登録
- (8) ボディビル競技の日本選手権大会及びその他の主催選手権大会の開催
- | | | |
|-----------------------------------|-------|-----------------|
| ① 日本クラス別ボディビル選手権大会の開催 | 7/24 | 実行委員会 (神奈川) |
| ② オールジャパンミスフィットネス選手権大会の開催 | 8/ 7 | 長野県 |
| ③ オールジャパンミスボディフィットネス選手権大会の開催 | 8/ 7 | 長野県 |
| ④ 日本クラシックボディビル選手権大会の開催 | 8/ 7 | 長野県 |
| ⑤ ジャパンオープンボディビル選手権大会の開催 | 8/21 | 広島県 |
| ⑥ ジャパンミックスドペアボディビル選手権大会の開催 | 8/21 | 広島県 |
| ⑦ 日本女子チャレンジカップボディビル選手権大会の開催 | 9/ 4 | 社会人 |
| ⑧ ミス 21 健康美大会の開催 | 9/ 4 | 社会人 |
| ⑨ 日本マスターズボディビル選手権大会の開催 | 9/18 | 実行委員会 (東京・江戸川区) |
| ⑩ 男子日本ボディビル選手権大会の開催 | 10/10 | 実行委員会 (東京・港区) |
| ⑪ 女子日本ボディビル選手権大会の開催 | 10/10 | 実行委員会 (港区・港区) |
| ⑫ JOC ジュニアカップ 日本ジュニアボディビル選手権大会の開催 | 10/10 | 実行委員会 (港区・港区) |
| ⑬ 全国高校生ボディビル選手権大会の開催 | 10/10 | 実行委員会 (港区・港区) |
- (9) 我が国のボディビル界を代表して国際組織への参加
- | | | |
|------------------|---------------|------|
| ① I F B B 総会への出席 | 11 月 3 日～7 日 | インド |
| ② A F B F 総会への出席 | 7 月 25 日～29 日 | モンゴル |
- (10) ボディビル国際選手権の開催及び国際選手権への代表選手、審査員、役員の選考及び派遣
- ① 6 月 25 日～28 日
韓国・ソウル
第 10 回日韓親善ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
 - ② 7 月 25 日～29 日
モンゴル
第 28 回アジア女子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 13 回アジアミスフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
第 8 回アジアミスボディフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
第 13 回アジアジュニアボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 13 回アジアマスターズボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 45 回アジア男子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 3 回アジアクラシック選手権大会へ選手役員の派遣
 - ③ 10 月 7 日～10 日
セルビア
第 29 回世界女子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 16 回世界ミスフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣

2. 新規加盟希望クラブ

- (1) 所属 : 千葉県連盟 (クラブ) 千葉県連盟登録見送り 理由: 近くに公認クラブがある為
クラブ名: ゴールドジム柏千葉 (準加盟) 設立 : 平成20年10月1日
受付 : (正) 未着・メール連絡あり、 (副) 平成22年10月18日
住所 : 千葉県柏市豊四季156 電話 : 04-7141-7733
代表 : 片山 忠 (指導員資格なし) 指導員: なし

3. 退会クラブ

- | | | | |
|-----------|-----------------------|--------|-----------|
| (1) 栃木県連盟 | セントラルフィットネスクラブ宇都宮 | 甲谷佳則代表 | 退会(運営は継続) |
| (2) 千葉県連盟 | ENDO'S GYM津田沼 | 遠藤光男代表 | 閉鎖 |
| (3) 長野県連盟 | オンリーワンフィットネス&トレーニングジム | 青木勝彦代表 | 閉鎖 |
| (4) 埼玉県連盟 | 越谷ボディビル同好会 | 会田修次代表 | 閉鎖 |
| (5) 埼玉県連盟 | トレーニングBOX | 上原敬司代表 | 閉鎖 |
| (6) 社会人連盟 | 東京消防庁ボディビルクラブ | 千束正彦代表 | 退会(運営は継続) |
| (7) 京都府連盟 | フィットネスクラブアスリート | 金平春甲代表 | 退会(運営は継続) |
| (8) 大阪連盟 | 淡路トレーニングセンター | 磯波孝英代表 | 閉鎖 |

4. その他、クラブ名称の変更

- (1) 兵庫県連盟 ワールドトレーニングセンターから、ウェルネス ユウへ名称変更
(2) 東京連盟 吉祥寺トレーニングセンターから、HAPPY GYM(ハッピージム)へ名称変更

以上、1.3.4.については全会一致で承認された。尚、2の登録見送りについては、千葉県の元木俊博新理事長に申請のあったクラブは受け入れるべきとの意見があり、千葉県連盟で再審議するため保留とした。

【第四号議案】平成24年度主催大会開催申請及び承認について

2012年 日本社会人連盟、実施日未定(きゅりあん 予定)

①2012年日本女子チャレンジカップボディビル選手権大会の開催

②2012年ミス21健康美大会の開催

以上の社会人主管大会は承認されたが、他の主催大会の主管申請については、6月まで立候補を待つこととした。尚、埼玉県連盟より大震災の関係で23年度の大会主管を西日本地区での開催変更の打診があり、理事会終了後、主な県連に連絡した結果、広島県連盟より快諾の連絡があったので、23年度のジャパンオープンボディビル選手権は8月21日に広島県民文化センターで開催することとなった。

その他 運営に必要な事項の報告

1. 次期役員改選の方向性について(6月審議事項)

6月は役員改選時期なので、各県連で正会員選出の結果を日本連盟まで報告と、ブロック代表理事の報告の確認があった。又理事選出基準について学識理事を区分けして、学術関係、関係団体、特別枠、社会人、会長推薦に分けて、総会に提案することが説明された。

尚、23年度役員改選は新公益法人申請までの期間とし、新公益法人申請前には理事全員の辞任を件とすることが説明された。

2. 新公益法人申請に向け、移行準備委員会の新設について

委員案: 玉利齊会長、吉田進副会長、青田正順常務理事、藤岡秀樹理事、
井澤雅章事務局相談役、小西康道事務局長

アドバイザー: 税理士法人コーポレートアドバイザーズ

以上の準備委員会が全会一致で承認された。尚、申請時期とそのタイムスケジュールの作成を6月までに決定する。

3. 他団体出場選手の移籍新規(継続)選手登録について(5名)

①佐藤 良 選手 (大阪連盟より 2008年 NBBF 九州オープン 1位)

②下瀬道現 選手 (東京連盟より 2000年 JPC ノービス大会 1位)

- ③梁永洙(ヤン ヨンスー)選手 (東京連盟より JPC 青森、JPC 群馬優勝)
 - ④福田博一選手 (神奈川県連盟より 2008 年横田基地大会出場)
 - ⑤小池直幸選手 (東京連盟より 横田基地大会出場 5位)
- 以上の 5 名の登録が全会一致で承認された。

4. 全国高等学校ボディビル選手権大会の名称の変更について
高等学校選手権大会の大会名を全国高校生ボディビル選手権大会と改称することが全会一致で承認された。
5. JOC 特別表彰申請
日本体育協会・日本オリンピック委員会創立 100 周年記念事業として、JOC加盟団体である日本ボディビル連盟では、現職理事他を功労者表彰候補者として推薦した。また特別功労者表彰候補者推薦については、旭日双光章を受章した日本連盟の玉利齊会長を推薦することが全会一致で承認された。
6. 東京所在のゴールドジム加盟について
白井オサム東京連盟新理事長より、ゴールドジムの全てを加盟させる方向で審議中であることが報告された。
7. 愛知県井村博一理事長の審査員特別昇級(2級より1級)について
審査委員会(中尾尚志審査委員長、藤原達也副会長、酒井孝副会長、政枝勝憲副会長)にて審議され、平成 23 年 1 月 28 日承認されたことが報告された。
8. 大分県連盟の未収金対応について
平成 23 年 2 月 15 日付にて、大分県連盟理事長及び公認クラブ代表宛に未収金の確認書を郵送した。その回答が 2 月 25 日に届き、理事長より毎月の返済が約束され、現在、その約束通り入金されていることが報告された。
9. 安全なウェイトトレーニングDVDについて
株式会社体育とスポーツ出版社制作、社団法人日本ボディビル連盟監修、中尾尚志専務理事が解説したDVDが発売された。これは安全のために初心者を対象とし、学術書ということではない。日本連盟としても収益事業の一環としてこのDVDを販売し、収益の一部にする。
10. 他団体の実態調査について
23年度中に全国の非加盟ボディビルクラブの実情の調査を実施してJBBFに加盟要望のクラブを検討する。
11. IFBB よりドーピングテスト実施の依頼について
IFBBよりADAMS(ドーピングテスト用居所情報登録システム)により、抜き打ちテストを実施したいとの要請があり、その実施のためJADA(日本アンチドーピング機構)とIFBBが直接契約して実施することが報告された。
12. 講習会について
 - (1) J B B F 公認指導員認定講習会 延期 (未定)
 - (2) 公認競技運営員認定講習会 延期 (未定)
 - (3) 公認審査集計員認定講習会(開催要項ホームページ掲載)
 - ① 日本クラス別選手権大会会場 平成 23 年 7 月 24 日(横浜市)
 - ② ジャパンオープン選手権大会会場 平成 23 年 8 月 21 日(広島市)
 - (4) ヘルスウェイトトレーナー制度

社団法人日本ボディビル連盟指導員資格はボディビル競技の為の指導者というイメージがあり、ボディビル選手だけのものと思われている。そうではなく一般の方々のための健康づくりとしてのボディビル、あるいは介護予防にも対応出来る資格で、名称をヘルスウエイトトレーナーとして、現在のボディビル指導員資格にプラスして活動の場を拡げる狙いで現在練り込み中です。これは指導委員会委員長の石井先生、ならびに東大のスタッフ、それから医学的見地からお医者さんたちにも参加してもらい、大体の方向性が出ているので6月にはカリキュラムなどを発表することが玉利会長より報告された。

13. IFBBプロ申請

山中輝世子選手が最近出場していないので、IFBBプロ資格を取り消された。再度IFBBプロとして申請したい旨の要請があり、日本連盟は審議の結果、誓約書の提出を条件に推薦することが承認された。

14. アンチドーピング委員会より

ブロック大会以上ではドーピングテストをやるということを以前にも説明しているが、ブロック大会以上の主管県連は、ドーピングテスト検査費用の支払い義務があることが再度確認された。

15. 義援金活動

義援金活動のひとつとして、玉利齊会長、主な選手などの「応援メッセージ動画」を作成し、JBBFのホームページに掲載することが鳥谷部篤広報委員長より提案され、全会一致で承認された。

事務局連絡

1. 次回理事会・総会は、平成23年6月5日（日）国立スポーツ科学センターにて開催します。
-